

# 基調講演・特別シンポジウム

■日時：11月26日(木) 9:30~10:30 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## 基調講演 1

座長 内海 眞 (国立病院機構名古屋医療センター)

### KL1 Seek and Treat for Optimal Prevention of HIV/AIDS (STOP HIV/AIDS)

Julio Montaner

BC-Centre for Excellence in HIV/AIDS, Providence Health Care  
Division of AIDS, University of British Columbia  
International AIDS Society

■日時：11月26日(木) 10:30~11:30 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## 基調講演 2

座長 岡本 尚 (名古屋市立大学医学研究科生体防御・総合  
医学専攻生体機能分子医学細胞分子生物学)

### KL2 State of the art on anti-HIV chemotherapy

Erik De Clercq

Rega Institute for Medical Research, K. U. Leuven

■日時：11月26日(木) 13:30~15:30 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## 特別シンポジウム

アジアにおける MSM ネットワーク  
MSM (Men who have sex with men) Networks in Asia

座長 池上千寿子 (特定非営利活動法人ぷれいす東京)  
市川誠一 (名古屋市立大学大学院看護学研究科)

SSY-1 Gay Sauna Networks: Understanding sex on premises venues for prevention and support interventions

Jeffrey Grierson

Senior Research Fellow, Charles La Trobe Fellow in Male to Male Sexual Practice in the Asia/Pacific Region/  
Australian Research Centre in Sex, Health and Society, La Trobe University, Melbourne Australia

SSY-3 The connectivity of MSM in Hong Kong: findings from the SNA survey among HIV positive MSM

Shui Shan LEE

Stanley Ho Centre for Emerging Infectious Diseases, The Chinese University of Hong Kong, Shatin, Hong Kong

SSY-2 Feasibility of Implementing and Assessing an HIV Risk Reduction Education Network Intervention with Men Who Have Sex with Men in Nanjing, China

Kyung-Hee Choi<sup>1</sup>, Juan Jiang<sup>2</sup>,  
Ningxiao Cao<sup>2</sup>

<sup>1</sup>Center for AIDS Prevention Studies, University of California, San Francisco, USA

<sup>2</sup>The Institute of Dermatology, Chinese Academy of Medical Sciences, Nanjing, China

# アルトマーク賞・特別講演

■日時：11月27日(金) 14:00~14:30 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## アルトマーク賞

### アルトマーク受賞講演

池上千寿子

特定非営利活動法人ぶれいす東京

■日時：11月26日(木) 16:00~17:00 ■会場：第3会場 (国際会議室)

## 特別講演 1

座長 兼松隆之 (長崎大学大学院移植・消化器外科)

### SL1 HIV 陽性患者の肝移植—米国における現状と問題点

加藤友朗

米国コロンビア大学外科

■日時：11月27日(金) 11:00~12:00 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## 特別講演 2

座長 鎌倉光宏 (慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科)

### SL2 Epidemiology, Scientific Networking and Prevention Tasks in the Field of HIV/AIDS: the German Experience and the Competence Network for HIV/AIDS

Klaus Jansen

Competence Network for HIV/AIDS Clinic for Dermatology and Allergology Ruhr-University Bochum

# シンポジウム

■日時：11月26日(木) 13:30~15:30 ■会場：第3会場 (国際会議室)

## シンポジウム1

エイズ発症の危険因子としての  
微生物間相互作用

座長

岡本 尚 (名古屋市立大学医学研究科生体防御・総合  
医学専攻生体機能分子医学細胞分子生物学)  
高折晃史 (京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学)

SY1-1 免疫不全宿主における EB ウイルス関連  
リンパ腫

木村 宏

名古屋大学大学院医学系研究科ウイルス学

SY1-3 HCV と HIV との混合感染の臨床的特徴  
塚田訓久

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発セン  
ター

SY1-2 HHV-8 感染とカポジ肉腫、primary ef-  
fusion lymphoma の発症病理

片野晴隆

国立感染症研究所感染病理部

SY1-4 歯周病感染症による HIV 複製の亢進と  
エイズ発症

今井健一

名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学

■日時：11月27日(金) 9:00~11:00 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## シンポジウム2

ニューグローバルウェーブと日本

座長

木原正博 (京都大学大学院医学研究科)  
鬼塚哲郎 (京都産業大学/MASH 大阪)

SY2-1 欧米とアジアの HIV 流行の現状と展望

木原正博

京都大学大学院医学研究科

SY2-3 日本の性行動の現状と国際的特徴

木原雅子

京都大学大学院医学研究科

SY2-2 欧米とアジアと日本の STD 流行の現状  
と展望

小野寺昭一

東京慈恵会医科大学感染制御部

SY2-4 日本の HIV 流行状況と将来予測

橋本修二

藤田保健衛生大学医学部衛生学講座

# シンポジウム

■日時：11月27日(金) 9:00~11:00 ■会場：第2会場 (白鳥ホール(南))

## シンポジウム3

これからの抗HIV薬研究の進むべき方向

座長 杉浦 互 (国立病院機構名古屋医療センター/国立感染症研究所)  
馬場昌範 (鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター)

SY3-1 HIV感染におけるCCR5の挙動  
中田浩智  
Experimental Retrovirology Section, Medicine Branch, NCI, NIH

SY3-2 HIV複製の律速段階である転写を標的とする新しい治療法  
朝光かおり  
名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学

SY3-3 オーミクス解析手法が次世代エイズ治療・予防法開発に与えるインパクト  
駒野 淳  
国立感染症研究所エイズ研究センター

SY3-4 RNA分解酵素MazFを発現する新規レトロウイルスベクターを用いたエイズ遺伝子治療法の開発  
岡本実佳<sup>1</sup>、蝶野英人<sup>2</sup>、馬場昌範<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>鹿児島大学大学院医歯学総合研究科附属難治ウイルス病態制御研究センター  
<sup>2</sup>タカラバイオ株式会社バイオ研究所

■日時：11月27日(金) 14:40~16:40 ■会場：第2会場 (白鳥ホール(南))

## シンポジウム4

HIV細胞侵入とその防御機序

座長 俣野哲朗 (東京大学医科学研究所)  
岩谷靖雅 (国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染症研究室)

SY4-1 エンベロープの進化と中和抗体  
松下修三  
熊本大学エイズ学研究中心病態制御分野

SY4-2 計算科学によるHIV-1 Gp120の構造解析  
横山 勝  
国立感染症研究所病原体ゲノム解析研究センター

SY4-3 エンドサイトーシスを介したHIV-1の細胞侵入  
宮内浩典  
国立感染症研究所エイズ研究センター

SY4-4 HIV-1エンベロープタンパク質gp41サブユニットの機能  
松田善衛  
東京大学医科学研究所アジア感染症研究拠点  
中国科学院生物物理研究所日中連携構造ウイルス学・免疫学研究室

# シンポジウム

■日時：11月27日(金) 14:40~16:40 ■会場：第3会場 (国際会議室)

## シンポジウム5 HIV-1感染と悪性腫瘍

座長 安岡 彰 (長崎大学病院感染制御教育センター)  
岡田誠治 (熊本大学エイズ学研究センター)

SY5-1 HIVの悪性腫瘍の動向  
安岡 彰  
長崎大学病院感染制御教育センター

SY5-4 カポジ肉腫の臨床病理とHHV-8感染  
片野晴隆  
国立感染症研究所感染病理部

SY5-2 エイズ関連悪性リンパ腫  
岡田誠治  
熊本大学エイズ学研究センター

SY5-5 非AIDS関連悪性腫瘍の特徴—治療戦略とその成績—  
永田安伸  
がん・感染症センター都内駒込病院感染症科

SY5-3 HIV感染に合併した白血病  
萩原将太郎  
国立国際医療センター血液内科

■日時：11月27日(金) 14:40~16:40 ■会場：第4会場 (会議室431+432)

## シンポジウム6 HIVは本当に慢性になったのか？ ～長期療養時代の陽性者支援の課題～

座長 長谷川博史 (日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス (JaNP+))  
生島 嗣 (特定非営利活動法人はれいす東京)

SY6-1 HIV/AIDS治療からみた、疾病のコントロール  
瀧永博之  
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

SY6-4 長期にHIV/AIDS療養をすること  
～副作用の経験から  
長谷川博史  
日本HIV陽性者ネットワーク・ジャンププラス (JaNP+)

SY6-2 東京都におけるエイズ診療協力病院の現状と課題  
大井 洋  
東京都福祉保健局感染症対策課

SY6-5 地域での療養生活をどう支援するか  
岡本 学  
国立病院機構大阪医療センター

SY6-3 東海地区に暮らすHIV陽性者の治療と生活  
真野新也  
LIFE 東海

SY6-6 免疫機能障害の認定と今後の課題  
大平勝美  
社会福祉法人はばたき福祉事業団

# シンポジウム

■日時：11月28日(土) 9:00~11:00 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## シンポジウム7

わが国における HIV 検査戦略

座長

中瀬克己 (岡山市保健所)  
加藤真吾 (慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室)

SY7-1 わが国における HIV 検査の現状と課題

加藤真吾

慶應義塾大学医学部微生物学・免疫学教室

SY7-3 臨床医の HIV 早期診断を防げる構造・因子について

青木 真

サクラ精機株式会社

SY7-2 医療機関における HIV 検査相談の提供について

矢永由里子

財団法人エイズ予防財団

SY7-4 パートナー健診の実際

今村顕史

都立駒込病院感染症科

■日時：11月28日(土) 10:30~12:00 ■会場：第4会場 (会議室431+432)

## シンポジウム8

パートナーシップ構築のための面接スキル

座長

池田和子 (国立国際医療センター戸山病院  
エイズ治療・研究開発センター)

SY8-1 パートナーシップ構築のための面接スキル

宮本真巳

東京医科歯科大学大学院

SY8-2 療養相談とパートナーシップ

豊島裕子

大阪市立総合医療センター

# シンポジウム

■日時：11月28日(土) 14:30~16:30 ■会場：第1会場（白鳥ホール（北））

## シンポジウム9

HIV 感染対策におけるパートナー  
シップ—自治体と NGO の協働

座長

佐藤未光（ひかりクリニック/RainbowRing）  
木村博和（横浜市健康福祉局健康安全部保健事業課事業推進課）

SY9-1 東京都における MSM へのエイズ対策の  
これまで—東京都および八王子市保健所  
での取り組み—

山田悦子

八王子市保健所保健対策課感染症対策担当

SY9-3 名古屋市の MSM へのエイズ対策の取組  
み—成果と課題

丹羽昌之

名古屋市健康福祉局健康部健康増進課

SY9-2 ゲイコミュニティを抱える新宿区保健所  
の取り組み

高藤光子

新宿区福祉部高齢者サービス課/元新宿区保健所

SY9-4 NGO と地方行政の連携

山本政弘

国立病院機構九州医療センター免疫感染症科/感染症対策  
室

■日時：11月28日(土) 14:30~16:30 ■会場：第3会場（国際会議室）

## シンポジウム10

HIV 母子感染予防対策の成果・  
そして課題

座長

谷口晴記（三重県立総合医療センター）  
外川正生（大阪市立総合医療センター小児医療センター小児救急科）

SY10-1 HIV 母子感染予防対策の成果

喜多恒和<sup>1,2</sup>、吉野直人<sup>2</sup>、外川正生<sup>2</sup>、塚原優己<sup>2</sup>、  
大島教子<sup>2</sup>、稲葉憲之<sup>2</sup>、和田裕一<sup>2</sup>

<sup>1</sup>帝京大学医学部産婦人科学講座

<sup>2</sup>厚生労働科学研究費補助金エイズ対策研究事業「HIV 感  
染妊婦とその出生児の調査・解析および診療・支援体制の  
整備に関する総合的研究」班

SY10-4 当院における HIV 母子感染予防対策を  
逸脱した症例の問題点と今後の課題

中西美紗緒

国立国際医療センター戸山病院産婦人科

SY10-2 妊婦 HIV 検査 — 栃木方式について

大島教子、稲葉憲之

獨協医科大学産科婦人科学教室

SY10-5 HIV 母子感染予防対策不完全実施例にお  
ける新生児の抗ウイルス療法

細川真一、山中純子、瓜生英子、佐藤典子、  
松下竹次

国立国際医療センター小児科

SY10-3 大阪地区での経験

伴 千秋

国立病院機構大阪医療センター産婦人科

SY10-6  
特別発言

対応に苦慮した妊娠後期感染疑いの一例  
蓮尾泰之

国立病院機構九州医療センター産婦人科

# シンポジウム

■日時：11月28日(土) 14:30~16:30 ■会場：第4会場 (会議室431+432)

## シンポジウム11

HIV 看護の専門性について考える 2  
—その一歩を踏み込むことと看護をめぐるネットワークの活用

座長

井上洋士 (放送大学)  
有馬美奈 (東京都保健医療公社荏原病院)

SY11-1 一歩踏み込んで患者の話を聴くこと

渡邊新一

東京都保健医療公社荏原病院

SY11-3 一歩踏み込んだ看護を考える

～実践を振り返って～

野本和美

がん・感染症センター都立駒込病院

SY11-2 受診中断となった事例から HIV 看護の  
専門性について考える

村元祐子

労働者健康福祉機構釧路労災病院

コメンテーター：

市橋恵子

訪問看護ステーション堂山

黒江ゆり子

岐阜県立看護大学大学院

# 若手企画／臨床・社会コラボシンポジウム／基礎・臨床コラボシンポジウム

■日時：11月26日(木) 18:00～19:30 ■会場：第2会場 (白鳥ホール(南))

## 臨床・社会コラボ シンポジウム

MSM 社会とのインターフェイス  
—臨床・検査・社会の協働

座長

新ヶ江章友 (財団法人エイズ予防財団/名古屋市立大学看護学部)  
金子典代 (名古屋市立大学大学院看護学研究科)

臨床・社会-1 臨床現場から見る MSM

小田原 隆  
三菱東京 UFJ 銀行健康センター

臨床・社会-3 予防啓発・陽性者支援の現場から見る  
MSM

砂川秀樹  
財団法人エイズ予防財団

臨床・社会-2 検査の現場から見た MSM— HIV に感染  
していない大部分の MSM への感染を防  
ぐために—

川畑拓也  
大阪府立公衆衛生研究所感染症部ウイルス課

コメンテーター：

間宮均人  
メイトウホスピタル

■日時：11月27日(金) 16:40～18:40 ■会場：第2会場 (白鳥ホール(南))

## 基礎・臨床コラボ シンポジウム

基礎研究  
—臨床研究間の新たな接点を探る

座長

金澤 智 (名古屋市立大学大学院医学研究科細胞分子生物学分野)  
横幕能行 (国立病院機構名古屋医療センター)

基礎・臨床-1 HIV-2 感染症と TRIM 5 $\alpha$

中山英美  
大阪大学微生物病研究所ウイルス感染制御分野

基礎・臨床-4 CCR5 阻害剤に対する耐性機序～臨床  
分離株を用いたマラビロック耐性誘導～

吉村和久  
熊本大学エイズ学研究センター病態制御分野

基礎・臨床-2 日本国内におけるヒト免疫不全ウイルス  
2 型 (HIV-2) 感染症例の診療経験

横幕能行  
国立病院機構名古屋医療センター

基礎・臨床-5 インテグレーションの分子メカニズムと  
細胞性因子—新しい阻害剤の開発にむけ  
て

鈴木陽一  
京都大学ウイルス研究所宿主要因解析チーム

基礎・臨床-3 HIV コレセプターとして働く G タンパク質  
共役受容体の多様性と特異性

清水宣明  
群馬大学大学院医学系研究科分子予防医学

基礎・臨床-6 インテグラーゼ阻害薬 (raltegravir) の臨  
床現場における実際と今後の問題

瀧永博之  
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発セン  
ター

# 看護師のためのケースカンファレンス／サテライトシンポジウム

■日時：11月28日(土) 9:00～10:20 ■会場：第4会場 (会議室431+432)

看護師のための  
ケースカンファレンス

座長 島田 恵 (国立国際医療センター戸山病院  
エイズ治療・研究開発センター)

NCC-1 HIV 告知、肺カルチノイド腫瘍の告知を受けた1例  
佐野仁美<sup>1</sup>、佐々木育子<sup>1</sup>、柴田雅子<sup>1</sup>、小林 一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>JA 北海道帯広厚生病院看護部 <sup>2</sup>JA 北海道帯広厚生病院  
血液内科

NCC-2 Care に困った Drug use の若年 HIV 感染者の1例  
結城美重、河村雅恵、高砂真明、山田 治  
山口大学医学部附属病院看護部

コメンテーター：

川口 玲  
新潟大学医歯学総合病院感染管理部  
下司有加  
国立病院機構大阪医療センター看護部  
城崎真弓  
国立病院機構九州医療センター看護部

■日時：11月26日(木) 17:10～19:10 ■会場：第3会場 (国際会議室)

サテライト  
シンポジウム1

HIV 合併症対策について

座長 菊池 嘉 (国立国際医療センター戸山病院  
エイズ治療・研究開発センター)

SS1-1 HIV 診療の現状と課題  
白阪琢磨  
国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療開発  
センター

SS1-2 血液製剤による HIV/HCV 重複感染患者  
に対する肝移植  
兼松隆之、江口 晋、高槻光寿、山之内孝彰、  
日高匡章、曾山明彦  
長崎大学大学院移植・消化器外科

SS1-3 脂肪移植方法による移植後吸収の変化の  
検討  
大芦孝平<sup>1</sup>、秋田定伯<sup>2</sup>、古川洋志<sup>1</sup>、中島正洋<sup>3</sup>、  
平野明喜<sup>2</sup>、山本有平<sup>1</sup>

<sup>1</sup>北海道大学医学部形成外科、<sup>2</sup>長崎大学医学部形成外科、  
<sup>3</sup>長崎大学大学院医歯薬学総合研究科附属原爆後遺障害医  
療研究施設放射線障害解析部門腫瘍・診断病理学研究分野

SS1-4 わが国の HIV 関連リポディストロフィー  
の実態と治療展望  
秋田定伯  
長崎大学病院形成外科

主催：財団法人エイズ予防財団

# サテライトシンポジウム

■日時：11月26日(木) 18:00~20:00 ■会場：第5会場 (会議室141+142)

## サテライト シンポジウム2

HIV/エイズとともに生きる人々の仕事・暮らし・社会  
—全国 HIV 陽性者1200人の生活実態調査の結果より—

座長 若林チヒロ (埼玉県立大学)  
生島 嗣 (特定非営利活動法人ふれいす東京)

SS2-1 岡本 学  
国立病院機構大阪医療センター

SS2-3 村上未知子  
HIV/AIDS 看護学会

SS2-2 鎌倉光宏  
慶應義塾大学大学院健康マネジメント研究科

主催：財団法人エイズ予防財団

■日時：11月26日(木) 18:00~20:00 ■会場：第6会場 (会議室131+132)

## サテライト シンポジウム3

HIV 陽性者のメンタルヘルスへのアプローチ  
~心理職が目指す予防とケアについての検討 その1~

座長 矢永由里子 (財団法人エイズ予防財団)  
江崎直樹 (飯塚病院ふれあいセンター臨床心理室)

SS3-1 HIV 陽性者のケア現状と課題：カウンセ  
リングの現場より  
牧野麻由子  
新潟大学医歯学総合病院感染管理部

SS3-4 メンタルヘルスにおける予防とケア  
高田知恵子  
秋田大学

SS3-2 メンタルヘルス問題の早期発見・対応と  
精神科との連携について(1)  
内科医の立場から  
山本政弘  
国立病院機構九州医療センター免疫感染症科/感染症対策  
室

SS3-5 精神科医から見た心理職の活動の可能性  
と今後  
三木浩司  
小倉記念病院精神科

SS3-3 メンタルヘルス問題の早期発見・対応と  
精神科との連携について(2)  
カウンセラーの立場から  
辻麻理子  
国立病院機構九州医療センター感染症対策/財団法人エイ  
ズ予防財団

# サテライトシンポジウム

■日時：11月26日(木) 18:00~20:00 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

## サテライト シンポジウム4

滞日外国人と性の健康：  
SEX★WORK★HIV★LIFE

座長 東 優子 (大阪府立大学人間社会学部)

SS4-1 東 優子  
大阪府立大学人間社会学部

SS4-4 ぼんぼんまる  
SWASH

SS4-2 青山 薫  
京都大学文学研究科グローバル COE「親密圏と公共圏の  
再編をめざすアジア拠点」

SS4-5 青木理恵子  
特定非利益活動法人 CHARM

SS4-3 要 友紀子  
SWASH

SS4-6 榎本てる子  
関西学院大学神学部

主催：財団法人エイズ予防財団

■日時：11月27日(金) 16:00~18:00 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

## サテライト シンポジウム5

今の医療に新たに求められているもの  
~尊厳と罪悪と共に歩むスピリチュアル・ケア~

座長 白阪琢磨 (国立病院機構大阪医療センター感染症内科)

SS5-1 HIV 陽性者とスピリチュアル・ケア~現  
場からの報告~  
榎本てる子  
関西学院大学神学部

SS5-3 誰にも代わってもらえない苦しみ~仏教  
の立場から~  
鍋島直樹  
龍谷大学法学部

SS5-2 罪意識からの解放~キリスト教の立場  
中道基夫  
関西学院大学神学部

SS5-4 医療に迎えたい新たなメンバー  
白阪琢磨  
国立病院機構大阪医療センター感染症内科

# サテライトシンポジウム

■日時：11月27日(金) 18：40～20：10 ■会場：第4会場（会議室431+432）

**サテライトシンポジウム6** HIV 診療支援ネットワーク(A-net)の将来像—患者参加型のネットワークを目指して— 座長 菊池 嘉 (国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター) 横幕能行 (国立病院機構名古屋医療センター)

## 【第一部】

HIV 診療支援ネットワーク（A-net）の歴史と課題

菊池 嘉

国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

## 【第二部】

多施設共同疫学調査における HAART の有効率

横幕能行

国立病院機構名古屋医療センター

## 【第三部】

パネルディスカッション

患者参加型の診療支援ネットワークに求められるものは

メインパネラー

花井十伍

NPO 法人ネットワーク医療と人権（MERS）

パネラー

遠藤知之<sup>1</sup>、伊藤俊広<sup>2</sup>、田邊嘉也<sup>3</sup>、上田幹夫<sup>4</sup>、渡邊 大<sup>5</sup>、藤井輝久<sup>6</sup>、南 留美<sup>7</sup>、宮城島拓人<sup>8</sup>、健山正男<sup>9</sup>、中村仁美<sup>10</sup>、患者有志

<sup>1</sup>北海道大学病院、<sup>2</sup>国立病院機構仙台医療センター、<sup>3</sup>新潟大学病院、<sup>4</sup>石川県立中央病院、<sup>5</sup>国立病院機構大阪医療センター、<sup>6</sup>広島大学病院、<sup>7</sup>国立病院機構九州医療センター、<sup>8</sup>釧路労災病院、<sup>9</sup>琉球大学医学部、<sup>10</sup>東京大学医科学研究所

主催：財団法人エイズ予防財団

■日時：11月27日(金) 18：00～20：00 ■会場：第6会場（会議室131+132）

**サテライトシンポジウム7** HIV 感染対策研究における人文諸学の応用可能性 座長 鬼塚哲郎 (京都産業大学/MASH 大阪) 佐藤知久 (京都文教大学)

SS7-1 HIV 感染対策研究における人文諸学の意味と役割

鬼塚哲郎

京都産業大学/MASH 大阪

SS7-2 HIV 感染対策研究への文化人類学の応用

西 真如

京都大学東南アジア研究所

SS7-3 HIV 感染対策研究への地域研究の応用

山田創平

京都精華大学人文学部

SS7-4 HIV 感染対策への文学研究の応用

藤田淳志

愛知学院大学教養部

SS7-5 HIV 感染症と表象研究

竹田恵子

早稲田大学演劇博物館/御茶の水女子大学大学院

主催：財団法人エイズ予防財団

# サテライトシンポジウム

■日時：11月27日(金) 18:00~20:00 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

サテライト  
シンポジウム8

セックスワーカーのいるまち2009

座長 東 優子 (大阪府立大学人間社会学部)

SS8-1 東 優子  
大阪府立大学人間社会学部

SS8-4 ぼんぼんまる  
SWASH

SS8-2 ブブ・ド・ラ・マドレーヌ  
MASH大阪

SS8-5 タミヤリョウコ  
SEXY MOUNTAIN

SS8-3 要 友紀子  
SWASH

SS8-6 青山 薫  
京都大学文学研究科グローバルCOE「親密圏と公共圏の  
再編をめざすアジア拠点」

主催：財団法人エイズ予防財団

■日時：11月28日(土) 14:50~16:20 ■会場：第2会場 (白鳥ホール(南))

サテライト  
シンポジウム9

在日外国人の生存権と治療アクセス

座長 仲尾唯治 (山梨学院大学)  
沢田貴志 (港町診療所/シェア=国際保健協力市民の会)

SS9-1 開発途上国の医療アクセスの動向と日本  
への影響  
川田 薫  
アフリカ日本協議会/財団法人エイズ予防財団リサーチレ  
ジデント

SS9-3 国境を超える HIV 陽性者と医療アクセ  
スの権利  
アラウージョ リマ フーリョ  
ブラジル国家生命倫理委員会諮問委員

SS9-2 入国管理制度の動向と在留特別許可  
鍵谷 智  
外国人入管手続研究会・行政書士

# サテライトワークショップ

■日時：11月27日(金) 18:20~20:20 ■会場：第5会場 (会議室141+142)

## サテライト ワークショップ

HIV 包括医療において、もっとうまくカウンセリングを活用するために？  
—「カウンセリングを使いたいけどよくわからない、  
つなげたいけどつながらない」…知恵と工夫を共有しよう—

座長 日笠 聡 (兵庫医科大学血液内科)  
山中京子 (大阪府立大学人間社会学部)

安尾利彦

国立病院機構大阪医療センター精神科

高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

清瀧裕子

京都大学医学部附属病院

山中京子

大阪府立大学人間社会学部

下司有加

国立病院機構大阪医療センター看護部

古谷野淳子

新潟大学医歯学総合病院

関矢早苗

がん・感染症センター都立駒込病院看護部

神谷昌枝

東京都福祉保健局

佐々木祐子

札幌医科大学附属病院内科外来

石川雅子

千葉県健康福祉部

岡本 学

国立病院機構大阪医療センター

高橋佳子

国立国際医療センター戸山病院／財団法人エイズ予防財団

### 【第1部：カウンセリング導入と連携に関する現状と課題】

1. 「中核拠点病院において行われるカウンセリングの質を向上させる研究」—調査結果から—

演者：安尾利彦

国立病院機構大阪医療センター精神科

2. 中核拠点病院相談事業の導入と連携の現状と課題—京都大学医学部附属病院の場合—

演者：高折晃史

京都大学大学院医学研究科血液・腫瘍内科学

清瀧裕子

京都大学医学部附属病院

3. カウンセリングの導入・連携に関する理論・概念の整理

演者：山中京子

大阪府立大学人間社会学部

### 【第2部：課題解決のための知恵と工夫】

4. カウンセリングの必要性を判断するための知恵と工夫

演者：下司有加

国立病院機構大阪医療センター看護部

カウンセラーの立場から：古谷野淳子

新潟大学医歯学総合病院

5. カウンセラーとの調整(面接室確保・日程調整など)の知恵と工夫

演者：関矢早苗

がん・感染症センター都立駒込病院

カウンセラーの立場から：神谷昌枝

東京都福祉保健局

6. カウンセラーの支援をチームで共有するための知恵と工夫

演者：佐々木祐子

札幌医科大学附属病院内科外来

カウンセラーの立場から：石川雅子

千葉県保健福祉局

7. カウンセリングが必要だと思われるが、ご本人が積極的でない場合の知恵と工夫

演者：岡本 学

国立病院機構大阪医療センター

カウンセラーの立場から：高橋佳子

国立国際医療センター戸山病院／財団法人エイズ予防財団

# 共催シンポジウム

■日時：11月26日(木) 15:40~17:40 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## 共催シンポジウム1

Beyond Japan: The evolving challenges of supporting life-long antiretroviral therapy  
国際シンポジウム：生涯にわたる抗レトロウイルス療法を支えるために

座長 Annette Haeran Sohn (TREAT Asia)  
岩本愛吉 (東京大学医学研究所感染症国際研究センター感染制御部門)

KS1-1 Improvement and Challenges of Providing Antiretroviral Therapy in Asia

Praphan Phanuphak  
Thai Red Cross AIDS Research Center

KS1-3 Life-long antiretroviral therapy: What will happen if we cannot keep the promise?

Rico Gustav  
APN+

KS1-2 The ethical impact of shifting global health priorities and funding on the quality and sustainability of HIV care in Asia

樽井正義  
慶應義塾大学文学部

共催：鳥居薬品株式会社

■日時：11月27日(金) 9:00~11:40 ■会場：第3会場 (国際会議室)

## 共催シンポジウム2

HAARTにおける新たな展開  
～慢性疾患としてのHIV/AIDS

座長 岩本愛吉 (東京大学医学研究所感染症国際研究センター感染制御部門)  
濱口元洋 (国立病院機構名古屋医療センターエイズ感染診療部)

KS2-1 Raltegravirの使用経験から再認識するHIV感染症治療原則の重要性

横幕能行  
国立病院機構名古屋医療センター

KS2-4 Darunavirを中心とした新規薬剤の使用経験

潟永 博之  
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

KS2-2 当院におけるRaltegravirの使用経験臨床的および*in vitro*での検討

南 留美  
国立病院機構九州医療センター免疫感染症科

KS2-5 HAART 推奨薬の変遷

日笠 聡  
兵庫医科大学血液内科

KS2-3 Etravirine(インテンレンス)の使用経験

立川 夏夫  
横浜市立市民病院感染症内科

KS2-6 HIV INFECTION AS A CHRONIC INFLAMMATORY DISEASE — IMPLICATIONS FOR THE OPTIMAL USE OF HAART

Julio Montaner  
BC-Centre for Excellence in HIV/AIDS, St Paul's Hospital, Providence Health Care  
Division of AIDS, University of British Columbia  
International AIDS Society

共催：万有製薬株式会社  
アボットジャパン株式会社

# 共催シンポジウム

■日時：11月28日(土) 14:00~15:40 ■会場：第5会場 (会議室141+142)

共催シンポジウム 3 中核拠点病院は何を目指すのか 総司会 今村顕史 (がん・感染症センター都立駒込病院感染症科)

パネラー／コメンテーター：

上田幹夫  
石川県立中央病院血液内科  
武内世生  
高知大学医学部附属病院総合診療部  
鶴見 寿  
岐阜大学医学部附属病院血液内科  
外島正樹  
自治医科大学臨床感染症センター感染症科  
日笠 聡  
兵庫医科大学血液内科  
宮城島拓人  
釧路労災病院内科  
宮下義啓  
山梨県立中央病院呼吸器内科  
山田 治  
山口大学大学院医学系研究科  
横幕能行  
国立病院機構名古屋医療センター

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

# 市民公開シンポジウム

■日時：11月27日(金) 15:00~17:00 ■会場：第1会場（白鳥ホール（北））

## 市民公開 シンポジウム

若者の性の多様性  
—若年層のHIV感染の課題—

座長 市川誠一（名古屋市立大学大学院看護学研究科）

### 【第一部 講座】

市民公開-1 なぜ同性愛と性同一性障害は混同されるのか

風間 孝

中京大学国際教養学部

### 【第二部 トークセッション】

「学校のなかのセクシュアル・マイノリティ」

ファシリテーター：

塩野徳史

財団法人エイズ予防財団／名古屋市立大学大学院看護学研究科

市民公開-2 ゲイ男性の生育歴と HIV 感染予防行動

日高庸晴

関西看護医療大学看護学部

主催：財団法人エイズ予防財団

共催：名古屋市

# ランチオンセミナー

■日時：11月26日(木) 12:00~13:00 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

ランチオン  
セミナー1

Compassionate and Effective HIV Care for Homeless,  
Substance Using and Mentally Ill Individuals

座長 白阪琢磨 (国立病院機構大阪医療センター HIV/  
AIDS 先端医療研究開発センター)

Barry D. Zevin  
Physician Specialist, Tom Waddell Health Center,  
San Francisco Department of Public Health

共催：ブリストル・マイヤーズ株式会社

■日時：11月26日(木) 12:00~13:00 ■会場：第4会場 (会議室431+432)

ランチオン  
セミナー2

1日2回と1日1回投与レジメンを  
正しく比較するには

座長 菊池 嘉 (国立国際医療センター戸山病院  
エイズ治療・研究開発センター)

LS2-1 1日1回投与

西田恭治  
国立病院機構大阪医療センター感染症内科

LS2-2 1日2回投与

山元泰之  
東京医科大学臨床検査医学講座臨床

共催：アボットジャパン株式会社

■日時：11月26日(木) 12:00~13:00 ■会場：第5会場 (会議室141+142)

ランチオン  
セミナー3

HIV 治療の新展開

座長 木村 哲 (東京通信病院)

岡 慎一  
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発セン  
ター

共催：万有製薬株式会社

■日時：11月27日(金) 11:50~12:50 ■会場：第2会場 (白鳥ホール(南))

ランチオン  
セミナー4

HIV ケアと新型インフルエンザ

座長 青木 眞 (サクラ精機株式会社)

岩田健太郎  
神戸大学感染症内科

共催：鳥居薬品株式会社

# ランチオンセミナー

■日時：11月27日(金) 11:50~12:50 ■会場：第4会場 (会議室431+432)

ランチオン  
セミナー5

進化する HAART

座長 満屋裕明 (熊本大学大学院医学薬学研究部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

LS5-1 プロテアーゼ阻害の新しいメカニズムと耐性発現  
満屋裕明  
熊本大学大学院医学薬学研究部 血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部

LS5-2 ダルナビルの臨床的位置付け  
岡 慎一  
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

共催：ヤンセン ファーマ株式会社

■日時：11月27日(金) 11:50~12:50 ■会場：第5会場 (会議室141+142)

ランチオン  
セミナー6

基礎からの抗 HIV 防御因子 APOBEC 3 G—その応用は?—

座長 杉浦 互 (国立病院機構名古屋医療センター臨床研究センター感染・免疫研究部)

岩谷靖雅  
国立病院機構名古屋医療センター  
臨床研究センター感染・免疫研究部

共催：中外製薬株式会社

■日時：11月27日(金) 11:50~12:50 ■会場：第6会場 (会議室131+132)

ランチオン  
セミナー7

血中 HIV-RNA 量測定における精度向上について

座長 木村 哲 (東京通信病院)

福武勝幸  
東京医科大学臨床検査医学講座

共催：ロシュ・ダイアグノスティックス株式会社

■日時：11月28日(土) 12:00~13:40 ■会場：第5会場 (会議室141+142)

ランチオン  
セミナー8

これからの HIV 診療におけるクリニックの課題を考える~内科・歯科の現状と課題~

座長 今村顕史 (東京都立駒込病院感染症科)

パート1 歯科  
柿澤 卓 (東京歯科大学水道橋病院)  
中田たか志 (中田歯科クリニック)  
松本宏之 (東京医科歯科大学歯学部附属病院総合診療科  
クリーンルーム歯科外来)

パート2 内科  
根岸昌功 (ねぎし内科診療所)  
山中 晃 (新宿東口クリニック)  
井戸田一郎 (しらかば診療所)

共催：ヤンセン ファーマ株式会社

# イブニングセミナー

■日時：11月26日(木) 18:00~20:00 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## イブニング セミナー1

HIV 感染症「治療の手引き」  
(第13版)

総合司会 木村 哲 (東京通信病院)  
満屋 裕明 (熊本大学大学院医学系研究部血液内科・膠原病内科・感染免疫診療部)

ES1-1 HIV 感染症「治療の手引き」第13版

木村 哲  
東京通信病院

ES1-3 新しい薬剤の使用経験

矢崎博久  
国立国際医療センター戸山病院エイズ治療・研究開発センター

ES1-2 治療開始の早期化の重要性

白阪琢磨  
国立病院機構大阪医療センター HIV/AIDS 先端医療研究開発センター

ES1-4 患者の側から見た抗 HIV 療法

長谷川博史  
日本 HIV 陽性者ネットワーク・ジャンププラス(JaNP+)

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

■日時：11月27日(金) 18:00~20:00 ■会場：第1会場 (白鳥ホール(北))

## イブニング セミナー2

Improving the Management of HIV Diseases  
症例から学ぶ HIV 感染症診療のコツ

座長 第一部 山元泰之 (東京医科大学病院臨床検査医学講座)  
第二部 青木 眞 (感染症コンサルタント)

第一部 特別講演

ES2-1 US での HIV 感染症診療における課題

Ann M Khalsa  
Centro de Salud Familiar La Fe C.A.R.E Center,  
Texas, US

第二部 Interactive Session

ES2-1 症例から学ぶ HIV 感染症診療のコツ  
~HIV 感染症診療における課題

Ann M Khalsa  
Centro de Salud Familiar La Fe C.A.R.E Center,  
Texas, US

コメンテーター

柳 秀高  
東海大学医学部付属病院総合内科  
山元泰之  
東京医科大学病院臨床検査医学講座  
加藤哲朗  
東京慈恵会医科大学感染制御部

共催：グラクソ・スミスクライン株式会社

# ラウンジセッション

■日時：11月26日(木) 12:00~13:10 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

## ラウンジ セッション1

冊子「Male STDs: Action Guide 男子のためのSTDハンドブック」  
を利用した男性の医療へのアクセス向上の試み

座長 井戸田一朗 (しらかば診療所)

コメンテーター Ann Khalsa

Centro de Salud Familiar La Fe C. A. R. E  
Center, Texas, US

\*軽食あり

企画：グラクソ・スミスクライン株式会社

■日時：11月27日(金) 9:20~10:50 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

## ラウンジ セッション2

オーストラリアのHIV陽性者の調査から導きだされること  
-日本のHIV陽性者のQOL向上に生かされることはなにか-

座長 コーナ ジェーン (名古屋市立大学大学院看護学研究科/  
財団法人エイズ予防財団)

講師 Jeffrey Grierson  
La Trobe University

コメンテーター 矢島 嵩  
ぷれいす東京  
井上洋士  
放送大学

\*逐次通訳あり

■日時：11月27日(金) 11:50~12:50 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

## ラウンジ セッション3

エイズ予防財団はどう変わるのか-新法人化に向けて  
(HIV/エイズの啓発と予防財団の今後の役割)

座長 福原毅文、宮田一雄 (財団法人エイズ予防財団)

\*軽食あり

■日時：11月27日(金) 14:00~16:00 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

## ラウンジ セッション4

mini サマーセミナー

元カレ・元カノからの贈りもの  
ピアっ子あいち

LGBTのためのSST  
AGP 東海

はじめてのAIDS (エイズ)  
HIVと人権・情報センター

主催：世界エイズデー in NAGOYA (WADN)

■日時：11月28日(土) 10:00~11:40 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

## ラウンジ セッション5

ブラジルのHIV/AIDS政策25年の歩み  
-ジョセ・アラウージョの軌跡から見る市民社会の力-

主催：特定非営利活動法人 CRIATIVOS-HIV・STD 関連支援センター (クリアチーヴォス)

# ラウンジセッション

■日時：11月28日(土) 12:00~13:00 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

**ラウンジ  
セッション6** HIV/エイズと共に生きる  
—1995年、そのときのエイズを思う

主催：NPO 法人りょうちゃんず

■日時：11月28日(土) 13:30~16:30 ■会場：プレゼンスペース (イベントホール)

**ラウンジ  
セッション7** ユース・スキルアップ&活動発表会

STD 現場報告 実際どうなんだ？  
丹羽咲江  
咲江レディスクリニック

主催：世界エイズデー in NAGOYA (WADN)

---

# 講 習 会

■日時：11月28日(土) 16:00~17:30 ■会場：第6会場 (会議室131+132)

講 習 会

平成21年度 HIV 感染症専門・認定  
薬剤師講習会

座長 畝井浩子 (広島大学病院薬剤部)

「開会の挨拶」

木平健治  
広島大学病院

「症例から学ぶ抗 HIV 療法」

関根祐介  
東京医科大学病院薬剤部

「抗 HIV 薬の基礎知識  
—知っておきたいポイント—」

吉野宗宏  
国立病院機構大阪医療センター薬剤科

※本講習会は、日本病院薬剤師会の認定講習会受講単位  
(0.75単位) が付与されます。